

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 清水の里作成日: 平成 29 年 9 月 11 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議を活かした取り組み	参加委員が固定化し、会議もホームの報告が中心になり、参加者からの意見や質問、要望等がないので、参加者が気楽に意見が言えるように、会議の内容や議題を工夫し、参加する意義のある充実した会議にしていく。	家族や複数の民生委員、公民館館長、薬剤師、地域で活躍している有識者等に参加を要請し、ホームの繁栄だけではなく、地域の様々な問題や、高齢者の介護相談等を会議の中で議論し、地域社会に貢献できる運営推進会議にしていく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	ベテラン職員に頑張ってもらっているが、これからのグループホームを背負って立つ若手の職員に、経験を積んでもらい、介護技術の向上と意識の高揚を図っていく。	外部の研修会に職員の習熟度や、やる気に合わせて交代で参加してもらい、外部の新鮮な風に当たり、介護知識や情報を習得し、技術の向上を図り、職員一人ひとりが意欲的に働ける職場環境を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。